

2022年度 RIDC活動実績

<シンポジウム・講演会>

- 9月 国際共同プロジェクト BEyond ARCHAEOlogy「第2回サマースクール」
- 10月 国際シンポジウム「バーリンアジア：ユーラシアからアメリカへの人類の拡散」
文部科学省科学研究費助成事業新学術領域研究(研究領域提案型)「出ユーラシアの統合的人類史学：文明創出メカニズムの解明」ほか
- 11月 公開シンポジウム「協調と戦争 -人間社会の根源を探る」
文部科学省科学研究費助成事業新学術領域研究(研究領域提案型)「出ユーラシアの統合的人類史学：文明創出メカニズムの解明」
- 12月 公開シンポジウム「文化財保護に未来はあるかー日本の文化財のこれからを考えるー」日本学術会議史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会
- 1月 第2回 瀬戸内研究シンポジウム「定着型産業の育成と地域社会の持続性の課題ー農業を事例として」
- 2月 公開シンポジウム「コミュニケーションと戦争」文部科学省科学研究費助成事業新学術領域研究(研究領域提案型)「出ユーラシアの統合的人類史学：文明創出メカニズムの解明」
- 3月 第1回 特別展 講演会「津島から世界へ、世界から津島へ」

<公開講座>

- 12月 岡山大学先端研究講座「文明探求：メキシコのピラミッドを掘る」
杉山三郎 文明動態学研究所 特任教授
- 2月 第1回 特別展 公開講座第1回「津島とマヤーグローバルな研究最前線」
鈴木真太郎 文明動態学研究所 教授
山口雄治 文明動態学研究所 助教
- 2月 第1回 特別展 公開講座第2回「津島にのこる戦争の歴史」
松岡弘之 社会文化科学学域 講師
野崎貴博 文明動態学研究所 助教
- 3月 第1回 特別展 公開講座第3回「文化財の保存と未来への活用」
今津勝紀 文明動態学研究所 教授
岩崎志保 文明動態学研究所 准教授

<展示>

10月7日-12月4日
「出雲と吉備」Be Archaeo 古代出雲歴史博物館とコラボ展示
古代出雲歴史博物館

2月10日-3月19日
第1回特別展「津島から世界へ、世界から津島へ」
岡山シティミュージアム

<RIDCマンスリー研究セミナー> オンライン開催

- 4月 「経済状況が主観的ウェルビーイングに与える影響ー年齢階級・都道府県別クロス・セクション分析ー」
釣雅雄 特命教授・武蔵大学経済学部 教授
- 5月 「『モノのやりとり』をめぐる認識の齟齬ともつれあいートングにおける他者接触の事例からー」
比嘉夏子 文明動態学研究所 客員研究員
- 6月 「『性からよむ江戸時代』その後ー山形大学附属博物館史料から読み解く性と生ー」
沢山美果子 文明動態学研究所 客員研究員
- 7月 「入所者の住宅からみた長島愛生園の歴史」
松岡弘之 社会文化科学学域 講師
パク ミンジョン 環境生命科学学域 特任助教
- 9月 「『家族や子どもに迷惑をかけたくない』という思いとは何か?ー〈迷惑〉研究プロジェクトの軌跡と展望ー」
本村昌文 ヘルシステム統合科学学域 教授
- 10月 「地域を変える若者の参画ー岡山県立新見高等学校の主権者教育を一例にー」
岩淵泰 地域総合研究センター 准教授
- 11月 「ぶどう輸出の現状と消費者の評価ー台湾のアンケート調査からー」
駄田井久 グローバル人材育成院 准教授
- 12月 「地下の宮殿へようこそ!ーソ連・ロシアにおける地下鉄開発と地下鉄映画ー」
本田晃子 社会文化科学学域 准教授
- 1月 「古墳時代における金属製武器の入手・保有・共有とその歴史的意義」
ライアン ジョセフ 文明動態学研究所 准教授
- 2月 「漢代画像石の画題と意義」
岩崎志保 文明動態学研究所 准教授
- 3月 「地方占領期研究と街の記録・カラー写真・岡山」
長志珠絵 神戸大学大学院国際文化学研究所 教授
福島幸宏 慶應義塾大学文学部 准教授

学術雑誌『文明動態学』(電子版)

QRコード▶



学 章

岡山大学 文明動態学研究所

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学 文明動態学研究所

Tel. 086-251-7442(研究部門)、086-251-7290(文化遺産マネジメント部門)

E-mail ridc@okayama-u.ac.jp

編 集：岡山大学 文明動態学研究所

<https://ridc.okayama-u.ac.jp/>

岡大 文明動態学

検索

